

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、ホームページで外部に公表することに加え、経営者はあるべき姿を全体会議で全社員に説明し共有している。								8	9											17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定とマニュアルがあり、定期的研修を実施し、社内掲示板等で重要性を全社員に向けて発信している。																				16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力が無いか社長が確認している。																	10				16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任者は社長とし、自らの事業活動が、社会、環境に及ぼす正と負の影響をバリューチェーン分析をしたうえで把握している。																					16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・規定を設けている他、知的財産の保護に関する研修や勉強会を実施している。									8.2 8.3	9											16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩事故が起こった際を想定し、具体的な対応策を策定している。 ・個人情報は閲覧権限を設定するとともに、パスワードを設定しセキュリティを強化している。																					16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・協力企業や自治体、金融機関など、ステークホルダーと連携した持続可能な社会づくりに向けた取組みを進めている。 ・宇土建設協会(理事就任)では定期的に防災に関する対話を実施しており、ステークホルダーへの影響について議論している。																				16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・日頃から、仕入先、リース先、取引先の取組みに関心を持ち、環境や社会に関する世の中の傾向や業界動向において対話をしており、協力体制のもと、持続可能な社会づくりに向けた取組みを進めている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】2025年4月までにBCPを策定し、経産省の「事業継続力強化計画認定」を取得する。											9		11				13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者には、関係団体および協会への加入にあわせ、今後必要とされる免許関係を積極的に取得する等、育成に力を入れている。										8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件において、差別しない体制、運営を徹底している。 ・ハラスメント禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生講習会を定期的実施している。 ・安全運転管理者選任事業所に選定されている。 ・「運輸安全マネジメントの取組み」を策定し掲示等で発信している。			3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員・パート社員の公正な待遇、公平公正な人事評価を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・当社はワークライフバランスを大切にしており、基本的に時間外労働は行わない体制をとっている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・年間教育計画を策定し、社長が講師となり教育を行っている。 ・技能検定取得費用の全額補助により、スキルアップ向上に取り組んでいる。 ・資格手当制度を導入し、能力開発に伴う支援を行っている。				4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・朝礼で交通事故等の注意喚起や健康増進への取組み促進を行っている。 ・日頃のコミュニケーションを通じ、心身の健康状態を確認している。			3					8													17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・ベテラン社員の長期雇用や多様な人材雇用と適切なマネジメントの環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・コロナ禍にテレワークをはじめ、Web会議等を積極的に導入したことで、新しい生活様式への対応ができています。			3						8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・重機のICT化やドローンを導入する等、DXの推進を図ることで、更なる事業拡大や常識に捉われないイノベーションを起こし続けている。									8	9.1		11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		【予定】2024年度の申請を予定しており、2025年3月までの認定を目指している。			3	4					8	9			12									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・2021年6月、ISO14001、ISO9001を取得済みであり、HPに公表するとともに、ISO基準に則り、廃棄物や有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・排出量算定システムを導入し、電力やガソリンなどエネルギー使用量を把握している。 ・太陽光パネルを設置し自社消費し、エネルギー使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・排出量算定システムを導入し、温室効果ガスの排出量を把握している。 ・社用車をEVに更新するとともに、車両・重機のハイブリット化・排ガス削減対応車両への更新を随時行い、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、使い捨てプラスチック製品などの使用削減に取り組んでいる。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生クラッシュャーランを利用する等、環境に配慮した資材調達を行っている。 ・資材調達時に、「梱包材不要」の意志表示をし、極力ごみを出さないようにしている。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施しており、事業所内設備に節水器具を使用している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・タブレット端末導入により、ペーパーレス化を推進している。									9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・規格外野菜や果物を購入し、食品ロス削減に取り組んでいる。		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・本社、営業所に植栽による緑の創出、保全、管理への取り組みを行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・自社にて太陽光発電を導入し、再エネ利用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックの使用削減や環境に優しい素材の使用に取り組んでいる。 ・資材調達時に、「梱包材不要」の意志表示をし、極力ごみを出さないようにしている。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・2021年、エコカー購入補助制度を導入済みであり、使用実績はないが社員には環境にやさしい自動車の使用を促進している。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社川口登建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・施工後に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープ設置やユニバーサルデザインフォントを使用し、工事現場での安全性を高めている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・毎年1回、社会課題解決に繋がる物品(書籍等)を地域の学校へ贈呈しており、SDGsゴール4「質の高い教育をみんなに」に貢献している。今後も毎年1回を目標に掲げ継続する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の小中学校からの職場体験を受け入れる体制を整えている。 ・地域事業者として、AED設置や非常用発電機の貸与など、地域の防災活動に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、非常用の砂など防災備蓄を常備している。また、従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・自然災害対応のため協会社との連携体制が構築できている。 ・R3年4月、宇土市との防災協定締結や事業所内へのAEDを設置している。定期的に防災に関する対話を実施し、災害時の協体制を構築している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・地域の金融機関とともに、事業活動において環境問題、人権問題等の社会課題解決に繋がる取組みについて定期的に対話を行うとともに、社員にも勉強会を通してSDGsの教育を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地域の中学校からの要請による、職場体験受入れに協力している。 ・学生のインターンシップや職場体験はコロナ禍で受け入れ実績ないが、要請には対応できる体制である。				4						8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・2021年網津小、2022年緑川小、2023年走潟小に寄付を行った。今後も継続し、未来の大人たちが地元で働くことに興味を持つように地域密着の企業として取り組んでいる。 ・【予定】毎年12月に宇土市の小学校に(7校)寄付を行う。				4.4							8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。